

11月30日(水)に、2年2組清水学級で国語科の公開授業研究を行いました。分かりやすくせつめいし  
よの単元の中で「しかけカードの作り方」で学習したことを生かして、自分で作ったおもちゃの作り方の説明の文章を書く学習です。



## 2学年 『おもちゃの作り方』



### ☆主体的に取り組むための工夫

#### ①「おもちゃ」を作らせる。

「おもちゃ」をつくる際、何が必要で、どういう順序で作業したらいいか考えながら進めました。

作り上げていく工程のメモをとるようにしました。分かりづらいところは絵を書きました。

#### ②相手意識をもたせる。

<材料と道具><作り方><遊び方>を見た友達がおもちゃを作ることができるようにしました。「家族がおもちゃを作ることができる」ことを目標としました。

#### ③書き方のポイントを提示する。

「まず」「つぎに」「それから」「こんどは」「さいごに」などのつなぎ言葉を使って書くことで、作り方の順序が分かりやすくなることを理解しました。

## 講師の先生より

- ・順序を表す言葉は、既習事項として理解できていた。
- ・丁寧にステップをふんで学習していた。
- ・集中して書いている姿勢はとてもよかった。
- ・ほとんど下書きが出来ていたので、順序をたどって考える力や筋道を立てて書く力が本時では難しかった。

自分が作った「おもちゃの作り方のせつめい書」をクラス全員が集中して、書き終えることができました。

おもちゃを作りながらメモをとる子どもたちが、とても生き生きとしていて、この単元の授業は毎日楽しい時間になりました。「ここは、ビニールテープをたてとよこと両方からはらないとね。」「それは、注意で書いておこうね。」など、班全員が書けるまで待ちながらの学習の様子がみられました。授業の反省を生かし、次時には書いた内容を『けん玉の作り方』から、「これは書いてないから、書いておこう。」と直し、よりよい説明文になっていました。これを機会に分かりやすい文を書こうとする子どもたちを育てていきたいと思えます。

2-2 清水 佳子

☆次回は、2月1日(水)第5校時、5学年の公開授業研究です。お楽しみに！